

第7回報告書

終わりになき好奇心の先にあるもの

近藤耕太

Massachusetts Institute of Technology (MIT) AeroAstro

マサチューセッツ工科大学 航空宇宙



日本帰国時にとった親戚との写真

1. 研究

3月末にIEEE Conference on Decision and ControlにDiffusion Modelを用いたTrajectory Planningの論文を提出しました。また、共著者としてIEEE IROSにも論文を提出しました。今年1年間を振り返ると、論文数は出たものの、どれも単発的で、Fundamentalな問題を解決するような論文が書くことができなかつたと反省しています。来年はもう少し問題設定を深くするよう心がけようと思います。

5月にはIEEE ICRA(横浜開催)に参加してきました。たくさんの学生から昨年発表した論文を読んだという感想をもらい嬉しく感じました。学会を通して、研究のトレンドをつかみ、新しいアイデアも何個か思いつくことができました。

2. 授業

春学期はmatrix methodを受講しました。教える内容はLinear algebraですが、かなり応用にフォーカスしたクラスなのでかなり研究に役立っていると感じます。これでPhDに必要な授業の受講は終わりました。小学一年生の時に初めて授業を受けた時からおよそ19年も経ってしまいましたが、最後の授業を終え安堵しています。来学期はListenerとして色々な授業に顔を出そうと思っています。

3. 私生活

学会で帰国した際に親戚のお家に遊びに行かせていただきました。僕の大叔父さんは96歳なのですが、とっても元気にしていて嬉しかったです。彼は終戦間際には海軍飛行予科練習生として徴兵され、特攻隊としての出撃命令まで受けていた人です。出撃日は1945年8月18日でしたが15日に終戦を迎えたため、出撃を免れました。そんな経歴なのですが、彼自身はとっても朗らかで、会ってお話するとこちらまで笑顔になりとても癒される人です。彼自身は終戦後仕事を見つけますが、その仕事先の近くで日本舞踊を教えているスタジオがあり、それを見て「とても楽しそうっ」と思い、日本舞踊を習い始めます。その後3年間ほど日本舞踊を習い、家元をいただくと、クラシックバレエに興味に移り、バレエを習い始めます。九州にたまたまきていた(ダンサーとして有名な)石井漠さんの目にとまり、東京に来ようお誘いをもらい、晴れて東京に出てきます。その後も彼の好奇心は止まることなく、色々なエピソードを聞かせてもらいました。好奇心に従ってまっすぐ生きる大叔父さんの話を大変面白く、自分も自分の人生を好奇心に従っていきたくと強く再認識させてくれました。